

## 課題曲演奏の注意事項 (2023/5/10 改訂)

1. 課題曲のスコアに記載された、オプションを除く全てのパートが揃っている団体は、いかなる変更も認めません。
2. オプションを除くパートに不足がある場合
  - (1) オプションを除く全てのパートが揃わない団体は、不足のパートについて課題曲のスコアに記載のある楽器（含オプション）によって代替することを認めます。
  - (2) パートの代替を行う場合は「作曲者の意図」「作品の書法や個性」を損なわないよう、十分配慮してください。
3. 指定された楽器がない場合

指定された楽器がない場合は以下に示す代替を認めます。ただし、一部分だけ代替することは認めません。また、課題曲と自由曲の両方を同じ楽器で演奏しなければなりません。

  - (1) トランペットをコルネットで演奏する。
  - (2) ホルンをメロフォン又は、アルトホルンで演奏する。
  - (3) ユーフォニアムをバリトンで演奏する。
4. Solo 及び、1 player の扱いについて

Solo や 1 player の指示がある部分を 1 人で演奏することが困難な場合は、複数の奏者（同一楽器）で分けて演奏しても構いません。ただし、同時に演奏している奏者は必ず 1 名です。
5. 楽器の調性が指定されている場合は、その調性の楽器を使用してください。指定がない場合、調性は問いません。

例) チューバの調性 (E $\flat$  管、B $\flat$  管、C 管等) は自由。  
クラリネットやトランペットは記載された調性どおり。